

平成 29 年 2 月 27 日
千葉県本部長 阿津和夫

千葉県本部支部長・団体長 各位

今回の千葉県大会に関する経緯を時系列別にまとめましたので参考に送付します。

1. 平成 28 年 5 月 3 日（火・祝）開催された第 42 回千葉県大会は組織統一の一助になればと判断し、千葉県本部、旧新千葉県本部の一本化による開催とし、双方からの実行委員が具体的な内容を決定しました。大会役員も会長は根本功氏、実行委員長は庄司快栄氏であり、双方が真摯に話し合い了解した役員構成でした。
2. 庄司本部長より「第 43 回千葉県空手道選手権大会開催について（平成 28 年 10 月 3 日発）」阿津本部長宛送付されました。要旨は平成 28 年と同様に大会の一本化開催を希望、主事務局を旧新千葉県本部で引き受ける 11 月中に初回打ち合せをしたい。でした。
3. 上記要請に対し、阿津本部長より「第 43 回千葉県空手道選手権大会開催について（平成 28 年 10 月 19 日発）」回答しました。組織の一本化のため 6 回の協議を行いました但し合意することはできませんでした。また、草原会長の仲裁案に対し受け入れる旨回答しましたが、旧新千葉県本部は別途人事（案）が総本部に提出されました。考え方に乖離している状況では一体開催に必要性は低いと判断し大会は独自開催することにしました。
4. 小倉専務理事より「平成 29 年千葉県大会一本化について（平 28 年 11 月 14 日（SS-16-032）」の要請書が阿津・庄司本部長宛送付されました。要旨は、①主管は庄司本部長の旧新千葉県本部とする。但し、役員・係員は分け隔てなく配置する。②全国大会の予選を兼ねる大会を指す。でした。
5. 上記要請書に対し、阿津本部長より「平成 29 年千葉県大会一本化について（平 28 年 11 月 14 日）」回答しました。要旨は、①大会は組織が一本化されたうえで開催する。でした。
6. 小倉専務理事より「平成 29 年千葉県大会一本化について（平 28 年 12 月 2 日（SS-16-034）」の要請書が阿津本部長宛送付されました。要旨は、①平成 28 年 11 月 14 日文書（SS-16-032）にある通り、一本化の開催を要請する。②主管は旧新千葉県本部とする。③大会は全国大会の予選会とする。④大会役員は会員・選手のことを第一に考え、一致結束して協力する。でした。

7. 上記要請書に対し、阿津本部長より「平成 29 年千葉県大会一本化について（平 28 年 12 月 19 日）回答しました。要旨は、『大会は組織が一本化されたうえで開催する。』方法は ①草原会長(案)人事を受け入れる。 ②一堂に会した支部長会議で決定する。 ③千葉県本部に所属する全成人会員の選挙により決定する。 でした。
8. 白井会長・庄司本部長の連名で「第 43 回千葉県空手道選手権大会開催について（平成 28 年 12 月 11 日発）」千葉県本部支部・団体長宛送付されました。要旨は ①大会への参加のお願い。 ②本大会は全国大会、関東大会の選考会を兼ねた大会です。 ③大会計画書が同封されており、日時・場所。参加費はすでに旧新千葉県本部で決定されていました。
9. 小倉専務理事より「一本化の千葉県大会（全国大会予選を兼ねる）開催について（平 29 年 1 月 19 日(S-17-001)）」の通知書が阿津・庄司両本部長、支部・団体各位宛送付されました。要旨は、①組織一本化はまだ時間がかかるので、双方が一致協力して開催するよう通達します。②主管は旧新千葉県本部とする。③大会は全国大会の予選会を兼ねたものと認定します。④支部・団体に対し協力をお願いします。 でした。
10. 上記通達に対し、阿津本部長より「平成 29 年度千葉県大会及び全国大会選手枠について（平 29 年 2 月 6 日）の要望書」を提出しました。要旨は、①大会は旧千葉県本部、旧新千葉県本部が個別に開催することを認めて下さい。 ②全国大会への出場枠は双方の組織の会員数に応じて決定して下さい。 でした。

以上